

# 祇園丸

網元  
祇園丸

第2号 平成14年6月18日発行

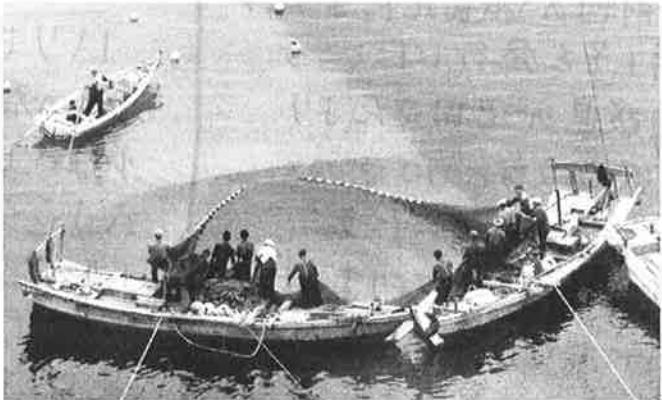
テレホン 0113

愛媛県東宇和郡明浜町狩浜2-12

TEL 0894-65-0918

FAX 0894-65-0920

## 狩浜の昔



昭和40年ごろのちりめん漁の風景

昭和35年ごろまでは ほうたれ漁が主で 夜は紺(ほうたれ漁)に出て 昼は山(さつまいも・なし)で生計を立てていました。 が、このころを界に 海は昼間のちりめん漁に 山は柑橘類に変わってきました。 当時の生活は とても裕福とはいえませんでしたが 地域のみんなで 同じ仕事を行い、どの家の子供も自分の家の子供のように育てられました。 義理・人情たっぷりで とても心豊かな地域です。 今も その気持ちだけは受け継がれています。

祇園丸より 私共網元祇園丸も本当に安全でおいしいものと皆様に、と思いつつちりめんの産直を始めてもう五年になりました。お陰様で消費者へ皆さんのいろいろなご意見を賜りました。時にはお叱りの言葉、また励ましやおほめの言葉などたくさんいただきました。五年間の返信ハガキを読み返しつつ、これからは私共から皆様方に私達のことや地域の文化・伝統、またいろいろな情報を発信し、消費者の方と情報交換できるよう前回よりこの「祇園丸だより」を発刊させていただきました。これからも皆様方のご意見等をお寄せいただきまししたら幸いかと思っております。ぜひ近くにお越しの際は網元祇園丸にお立ち寄りいただきまますようご案内申し上げます。



## 消費者のページより

★前回企画のほうたれいりに★

「これはイリコじゃない！」  
と叱られました。

「こんなもの食べたことない！」  
とほめられました。

というようにいろいろな意見を  
頂きました。

また珍しいものがそれましたら  
ぜひ皆様にお届けしたいと

思っておりますので

よろしくお願ひします。

※皆様方のご意見・料理方法など  
お寄せいただきましたら、幸いと存じます。

## 祇園丸婦人会より

祇園丸婦人会では、リサイクル運動と海を守る  
運動の一貫として家庭での廃食油を利用して  
廃油石けんを作り、台所の食器洗い・洗たくに  
利用しています。

また、できるだけ合成洗剤の使用を避け、  
はみがき・シャンプー等も海にやさしい  
石けんを使用しています。

この事業は、漁協婦人部・婦人会、  
地域でも行っております。



★前回の“祇園丸”より★

第1号を発行したところ

島根県の沼田さんより

表誌の文字とロゴマークを  
提供していただきました。

立派な表誌になりました。

表誌に負けないよう

頑張りたいと思います。

たいへんありがとうございました。

## 海から

ハリセンボンの襲来？！

今年の春の漁はちりめんが

少ない上に3月頃より

ハリセンボンが大発生し

ちりめんの群れを追い散  
らしたり、ちりめんの中に  
混じってとても困りました。

また、飼養漁業者の鯛が

ハリセンボンの稚魚を食べて窒息死する

などの被害がありました。が、5月頃より

どこに行ったのか全くなり、ホッとしています。

ハリセンボンは、暖海域に生息し、明済の海  
にはいなかつたのですが、2年前頃から発生し、  
困っています。これも地球温暖化が原因  
なのでしょうか？

## —ちりめんを使った料理—

材料(2人分)

とうふ 1丁、ちりめん 50g

ネギ 適量

Ⓐ ゴマ 適量

酢 大さじ2/3

酒・しょうゆ  
だし汁・みりん } 各大さじ1  
みそ

作り方

①. とうふは、刃の目に切る。

②. ネギは細かく切る。

③. Ⓠを合わせる。

④. 器に①を盛り、②と

ちりめんを加えて

③をかける。